

鬼北町立広見中学校

道德通信

NO. 23

令和7年10月27日発行

よりよく生きる

3年生道德授業の紹介「失った笑顔を取り戻す」(読み物資料)

【資料のあらすじ】

「誰かの役に立ちたい」という思いで義肢装具士になった主人公・臼井二美男さん。義肢装具士として働く中で、さまざまな患者さんの痛みと向き合い、それぞれに合う義肢を作っていく。仕事に慣れてきた頃、スポーツ用の義足を作る挑戦を始める。「義足使用者の人たちがもっと生き生きと生活するために」という思いを持ち、苦勞して完成した試作品を着けた女性が、臼井さんの目の前を駆け抜ける。マタニティ義足など、臼井さんはさまざまな用途の義足を更に作り続けている……。



もし自分が働くなら、どのようなことを大切にしたいか？(生徒の意見)

- ・さまざまなことにチャレンジすること。言葉遣いを大切にすること。
- ・人とのコミュニケーションや関わり。誰かに笑顔になってもらうこと。人の役に立つために何かをする。やりがいを感じる。仕事を通して多くを得ること。
- ・よりよい人間関係。強いメンタル。笑顔をつくること。モラルがある仕事を選ぶこと。縦の関係と横の関係を大切にしたい。お金のありがたさを感じながら働きたい。

今日の授業の感想を書きましょう。

- ・僕は、この授業を終えて、働くことは自分のためだけでなく、周りのためにでもあると知ったので、職場体験学習でも、相手により印象を与えられるようにしたい。
- ・働くことで得たものは、自分の考え方や感じ方を変えてくれるし、誰かのために働くことも大切だと思った。
- ・私は、自分が将来、働くときには、諦めずに最後までやり切ることを大切にしたいです。また、他の人(周りの人)が笑顔になってほしいという思いを忘れずに働きたいです。
- ・陰で仕事をするにしても、表に立って仕事をするにしても、みんなが笑顔になってくれるような仕事をするのが大切だと思った。お金＝仕事ではなく、仕事＝お客様の気持ちなのではないかと思った。
- ・人のために何かをできる人はすごいと思った。職場体験学習では、笑顔で挨拶や返事をして、お客さんの気持ちをしっかりと考えて行動したい。

仕事の意義は、経済面だけではなく、自分の役割を果たし、他者と協働して社会に参画することで、社会を積極的に形成するという面もあります。仕事をするすることで、他者の生き方を支え、社会に貢献することができ、更にはそれが自己の成長や生きる喜び、豊かな生き方にもつながっていきます。

働くことの意義は、人によってさまざまで、多様なものです。中学3年生が、働くことについて考えるとき、臼井さんの働く姿勢は、とても参考になるのではないかと感じました。これからも、働くことについてより深く考え、自己の職業観を養ってほしいと思います。